

ぬくもりのあるガラスの涼



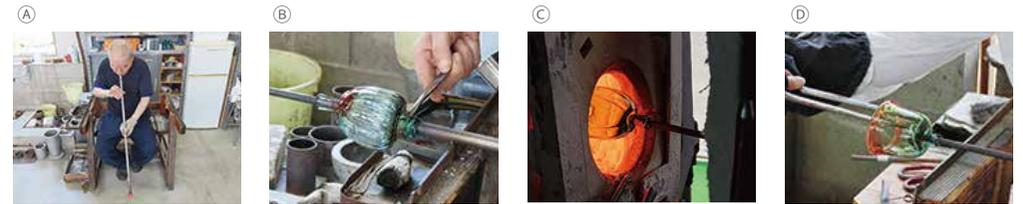
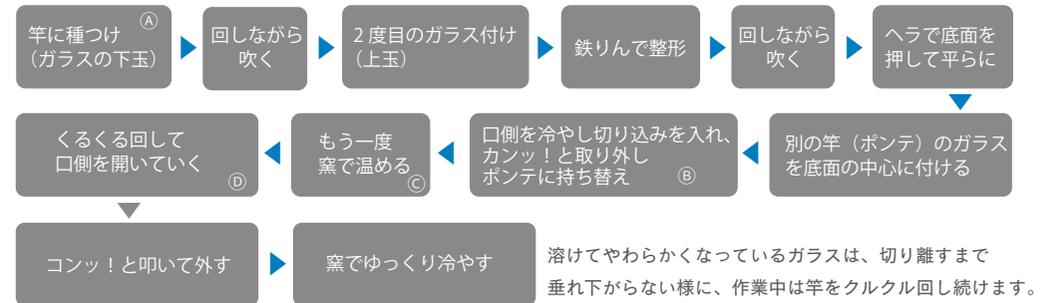
岡山市南区にある社会福祉法人「浦安荘」の中に小さく佇むガラス工房があるのをご存じですか？
名前は「浦安ガラス幸房」。

1984年に寄贈されたプレハブをキッカケに、さあ何をしようかとスタートしたのが、ガラス工房。
製作に携わるのは、未経験の施設スタッフと、施設利用者です。ガラスは溶かして何度でも作り直せる。そして少しずつの分担作業で出来ることから、「誰でも何か出来ることがある、今出来ることしよう」という考えから、立ち上げました。

早速当時の創設者が九州まで修行に行き、技術を持ち帰って指導を始めたのでした。工房へ伺ってみると、燃え続ける2つの窯のゴウゴウという音、そして竿の先にある赤みを帯びた小さく膨らむガラスの玉が印象的でした。創業から38年、冷静で無駄のない作業姿は、未経験から始まったとは思えない職人の風格を漂わせておられる方や、中にはまだ初めて2～3年という方もおられて、楽しく見学ができます。



そして、1つの作品を作るのに要する時間は、約5分。さあ！よーい、スタート！



以上、簡単な説明ではまったく伝わらないと思いますが、この工程を5分で仕上げます。確かに無駄な動きがあつては出来ません。現在浦安ガラス幸房さんでは、ガラスの吹きガラス体験実習を行っています。手作りのプレゼントや、この時期は毎年子供の自由研究で参加される方も多そうです。その他施設内での販売もしています。

そして忘れてはいけないのが1回2回の体験では、お店で売っているようなキレイな形にならないこと。すぐ熱が冷め、固まってしまうガラスは、その一瞬一瞬が形になります。いわゆる今日という時間を形に残してくれます。その価値は、体験した方と作品の間で生まれ、冷たくて涼しげなガラスの中に、心の温もりが宿り始めます。

凸凹だって面白いでしょ？それも人生ですから。・・・ではないでしょうか？



体験・販売 / 浦安ガラス幸房



岡山市南区浦安本町 209
086-263-9201
駐車場あり

営業時間・体験内容に関しては変動があるため、詳しくは上記までお問合せください。